

平成26年度事務事業評価調書

整理番号	29	枝番	2
評価担当課	教育部 生涯学習課		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	家庭教育支援事業			
総合計画の位置づけ	有 無	基本目標	5	心豊かな人と文化を育むまちづくり
		主要施策	7	家庭教育の推進
		基本事業	1	家庭と地域の教育力の向上
		実施計画事業	1	家庭教育に関する学習機会及び情報の提供

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	家庭での教育機能の向上			
対象(何を又は誰を)	就学前の幼児を持つ家庭			
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	家庭教育支援事業として講演会等の事業を行う			
意図(どのような成果を期待しているか)	家庭での学習活動の充実と、学習機会の提供			
事業実施主体	名寄市教育委員会			
事業実施方法	直営 一部委託 全部委託 補助等 請負 その他( )			
事業実施期間	始期	H24 年度	終期設定	有 (終期 年度) 無
根拠法令・条例等				

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容	単位		H23	H24	H25	H26見込	目標年度 (年度)
				目標	実績	目標	実績	目標
活動指標	1 家庭教育学級支援事業の実施	件	目標	3	3	3	3	
			実績	5	2	3	3	
	2		目標					
			実績					
	3		目標					
			実績					
成果指標	1 家庭教育学級支援事業の実施	件	目標	3	3	3	3	
			実績	5	2	3	3	
	2 家庭教育学級支援事業の参加人数		目標	200	60	110	150	
			実績	194	69	117	150	

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H23決算	H24決算	H25決算	H26予算	平成25年度の事業費内訳
事業費	84	8	15	130	講師謝礼 80 講師旅費 70
国道支出金					
地方債					
その他					
一般財源	84	8	15	130	
人件費	668	663	647	647	
平均給与額	6,683	6,629	6,468	6,468	
担当職員数	0.10	0.10	0.10	0.10	
総事業費	752	671	662	777	
対前年比(%)	—	89	99	117	コストの算出方法
事業コスト	150	335	226	264	総事業費/事業件数
活動指標1					
活動指標2					
活動指標3					

※H26年度平均給与額は仮の数値です

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	
改善点	指摘事項 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">有 無</span> ( )

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性 市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	a	家庭教育の重要性について認識されており、子育て世代からの要請もある。
有効性 目的を達成するための方法として有効か？	b	目的達成のために有効であるが、適宜内容の見直しが必要である。
効率性 経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	a	実施する事業費については、最低限のコストで行われている。
公平性 受益者負担は適正か、受益者に偏りがなかい？	a	講演会等の事業は、参加料無料で実施しているが、事業費も低コストで実施しているため適正である。
達成度 活動指標、成果指標の達成度は？	a	家庭教育学級の組織化及び、支援事業について実施できている。

5 1次評価

評価結果	理由	
A	事業の目標及び指標に沿って実施できている。	
A:現状のまま継続 B:進め方を改善 C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	

6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
A	1次評価のとおり